

<参考>投稿前の執筆要領チェックリスト

タイトル

(和文)

末尾に上付きで脚注番号“1”を記載している。

(英文)

キャピタライゼーションルールに従っている。

著者名

(和文)

著者それぞれに所属No.を上付きで記載している。

所属No.は2から始まっている。

所属が同じ著者の場合は同じNo.を付している。

(英文)

姓 (Family name) のみ大文字で記載している。

○ Satoshi MURAKI

× SATOSHI MURAKI

× Satoshi Muraki

著者が複数の場合は下記のように記載している。

1人の場合 A.

2人の場合 A & B.

3人以上の場合 A, B & C.

※最後にピリオドをつけて下さい。

著者の所属

(和文, 英文共通)

2階層目までになっている。

○ A大学B学部

× A大学B学部C学科

(英文)

下位階層から記載している。

○Faculty of Ergonomics, Sadoku University

×Sadoku University, Faculty of Ergonomics

単語の先頭は大文字になっている(前置詞等は除く)。

英文抄録 (Abstract)

和文抄録の内容と一致している。

およそ200ワード以内になっている。

ネイティブチェックを受けている。

和文抄録

要点(目的・方法・結果・考察)を簡潔に400字程度でまとめている。

日本語キーワード

タイトルに含まれる語となるべく重ならないように選んでいる。

関連する類語でも検索されやすくするように、シソーラス用語(MeSHなど)が利用可能なら、定義されているキーワードを入れる。

図表

図題および本文内の図表番号は、それぞれ図1, 図2(英文の場合はFig. 1, Fig. 2), 表1, 表2(英文の場合はTable 1, Table 2)の形式になっている。

図題・表題は和文と英文それぞれの言語にて記載している。

図題・表題に用いる英語は冒頭のみ大文字, 以降は原則として小文字を使用している。

図表の解像度およびフォントサイズは印刷後に明瞭に読めるものになっている。

表の罫線は最小限の横線のみを引き, 縦の罫線は引かない。また, 外枠も付けない。

図表内で略記を用いるときには, 脚注で説明する(本文を読まなくても図表を見ただけで意味が理解できるように)。

モノクロで判別できるように図は作成されている。

図表の単位が明示されている。

(本学会以外の学協会等に著作権がある図表を使用する場合) 必要な転載許可を取り, その旨を明記している。

個人が特定される写真は肖像権の承諾を得ている旨を記載する。

倫理的配慮に関する記述

(倫理審査を受けて承認されている場合) 審査機関と承認番号を記載している。

(所属機関に審査機関がなく受審していない場合) 倫理的配慮をどのように実施したかを記載している。

単位・数字の表記

数字と単位記号の間には半角スペースを入れている(%など一部除く)。

本文および図表で示す数字は適切な有効桁数にて示している。

本文

読点と句点はそれぞれコンマ(,)とピリオド(.)になっている。

<執筆要領には明示していませんが、査読にて指摘が多い事項>

- 本文中の略記は初出のところで定義されている。
- 略記の使用は必要最小限にとどめている。
- 主語と述語の関係が整合している。
- 一文は長すぎず、理解しやすい文構造になっている。
- IMRAD形式（背景，方法，結果，考察）に従い論文を適切に構造化している（結果の中に考察を書かない，結果で示すデータや解析方法は方法の章に明示しておく，考察で論じるデータは結果で示しておく）。
- 研究の限界を考察の最後のパラグラフに設けて論じている。
- 得られた結果について，先行研究を引用し多面的かつ論理的に考察を展開している。
- 目的に対応する結論を簡潔に述べている（今後の課題などは結論の前（考察の後半部）に示すこと）。

文献

(共通)

- 引用個所の右肩に文献の番号を記載している。
- 出現順にナンバリングしている。

(著者表記)

- 著者が3名以上の場合，2名まで記載し，他（和文），et al.（英文）表記にしている（表1参照）。
- 著者名を表記する際の記号（コンマ，ピリオド，セミコロン）は表1のようにになっている。
- （英文）著者はファミリーネームを記載し，ファーストおよびミドルネームはイニシャルのみとなっている（表1参照）。
- （英文）ミドルネームとファーストネームの略記の間は半角スペースを入れている（表1参照）。

表1 文献リストの著者の記載の仕方

(和文)

- 1名の場合 榎原毅.
- 2名の場合 榎原毅, 村木里志.
- 3名の場合 榎原毅, 村木里志, 他.

(英文)

- 1名の場合 Smith, H. F.
- 2名の場合 Smith, H. F.; Yamada, K. C.
- 3名の場合 Smith, H. F.; Yamada, K. C.; et al.

(タイトル)

- 英文のタイトルは冒頭のみ大文字，以降は原則とし

て小文字を使用している（ただし，書籍名のみキャピタライゼーションルールを適用）。

- What factors are involved in the levels of ...
- What Factors Are Involved in the Levels of ...
- タイトルの後はピリオドになっている。
- Proceedingsや書籍の章の見出しは“ ”にて囲っている。（雑誌名）
- 雑誌名は略記ではなく正式名称を記載している（略称を用いていない）。
- 雑誌名の各単語の最初は大文字になっている（前置詞等は除く）。
- Japanese Journal of Ergonomics
- Japanese journal of ergonomics
- 雑誌名の後はピリオドになっている。
- 年，巻・号，ページの順になっている。
- 巻・号は略記になっている。
- 26(2)
- Vol.26 No.2
- ページ番号は略さない
- p.342-348
- p.342-8
- (その他)
- 最後にピリオドがついている。

著者情報

- 日本人間工学会の会員の著者には，著者の後の括弧内に会員種別（正会員，準会員）を記載している。
- 連絡著者は正会員である（正会員以外は連絡著者にはなれない）。
- 連絡著者の連絡先（メールアドレス）を記載している。

その他

- 最新の執筆要領を確認し，最新のテンプレートを使用している。
- 利益相反がある場合は，見出しを設けて内容を記載している。
- 謝辞がある場合は，見出しを設けて内容を記載している。
- 既発表の原稿等に新規性を加えるなど拡充して本誌に投稿する場合や，学術集会等にてその一部を発表している場合には，「付記」の項を設けてその旨を記載している。